学校番号	３１６

令和５年度 地理歴史科（地理Ｂ）シラバス

教科	地理歴史科	科目	地理Ｂ	単位数	３	年次	３
使用教科書	『新詳地理 B』 （帝国書院）						
副教材等	『新詳高等地図』 （帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Inquiry questions（探求テーマ）…グローバルな視点で地理学を学び、その中から自ら課題を発見して考えを深めることが、結果として将来の一個人の幸福や社会問題解決の原動力に繋がる。

Key concept（重要概念）…世界地理の基礎的知識の定着を基本的目標とする。特に、系統地理を中心とし、１年次に学んだ地理Ａでの地誌学習との融合をはかる。また、地域現代史や現代世界の問題についても分析できる能力を獲得し、考察を深めることが重要である。

学習の到達目標（Attainment target of learning trails）

①地理的空間と環境の相互関係を学ぶこと。
②人間の福祉や環境の質に関心をもち、資源の持続可能な管理の必要性を理解すること。
③現代の社会問題や困難を分析するうえで、地理が関連していることを理解し、多様性や変化に対しグローバルな視点をもつこと。

学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的事象に対する関心と課題意識を見出し、追究するとともに、国家・社会を形成する一員としての責任を果たそうとする。	世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査	External Assessment（外部評価）80% ・定期考査
	Internal Assessment（内部評価）20% ※ポートフォリオ ※課題に見合う資料の収集	Internal Assessment（内部評価）20% ※社会問題について論述する能力 ※パフォーマンス評価 ・ワークシート ・レポート	Internal Assessment（内部評価）20% ※図や表のデータ分析 ・ワークシート ・レポート	Internal Assessment（内部評価）20% ※地経学の知識

①上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
②それぞれの観点について、アプローチの仕方や、捉え方の違いに差異が出てもよいとし、学習内容に応じて適切に配分し、評価する。その際の評価シートは、ルーブリックを用いる。

2　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期（中間）	気候・植生と土壌	1 気温と降水量 2 大気大循環と風 3 水の循環と大陸の東西 4 世界の気候区分 5 ケッペンの気候区分（A・B・C・D・E・H） 6 植生と土壌 7 気候変動と都市気候	○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、与えられたテーマ（世界の気温・降水量・風、植生・土壌）について事前に調査できる b:事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。気候が、その地域の実生活と関連していることを発表できる。 c: 各班のテーマに沿って、図や表（生活に関係のある気候と植生・土壌）にまとめられる。 d: 気温、降水量、大気、風のどの要素が、気候を左右することを把握する。また、気候区分と植生・土壌が密接に関連していることを把握する。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート（アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む）

1学期（期末）	自然災害・防災	1 世界各地の自然災害 2 日本の地形・気候と自然災害 3 防災・減災の取り組み	○ ○	○	○	○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、与えられたテーマ（自然災害）（環境問題）について事前に調査できる。 b: 事前調査の話し合いと『ツェツェ蝿の人の移動ゲーム』、クラス発表に活かせている。また、実生活にフィードバックして発表できる。 c:各班のテーマに沿って、図や表（ハザードマップなどの防災・減災の取り組み）（日常生活から取り組める環境問題）にまとめられる。 d: 災害に対する知識を深め、そのうえで防災、減災についてまとめられる。環境問題に対する知識を深め、そのうえで日常生活において取り組んでいける環境問題についてまとめられる。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート（ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む）
	環境問題	4 世界の環境問題 5 地球温暖化、森林破壊、砂漠化、大気汚染、酸性雨、海洋汚染、放射能汚染 6 日本の環境問題 7 環境問題への取り組み	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		

2学期（中間）	資源・エネルギー 第3次産業	1 エネルギー資源の利用 2 石油、天然ガス、石炭、鉄鉱石、非鉄金属、レアメタル・レアアース・水資源、電力と原子力の利用 3 再生可能エネルギーと省エネルギー 4 日本のエネルギー問題 5　世界と日本の産業構成 6　第３次産業の発展 7　余暇と観光業	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、与えられたテーマ（石油、天然ガス、石炭、鉄鉱石、非鉄金属、レアメタル・レアアース・水資源、電力と原子力）（産業構成、観光地の類型、世界遺産、観光業）について事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表（エネルギー産出地、自給率、輸出入の移動）（観光資源、マップ）にまとめられる。 d:様々なエネルギーについて理解を深める。また、そのエネルギーの利用方法と課題を把握する。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート（ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む）

2学期（期末）	交通・通信	1 世界の航空・陸上・水上交通 2 情報化の進展	○	○	○	○	a:資料やインターネットなどを活用して、与えられたテーマ（航空機・鉄道・自動車・船舶などの交通機関、インターネット）（世界と日本の貿易）（発展途上国・先進国・日本の人口問題）について事前に調査できる。 b: 事前調査の話し合いと、『貿易ゲーム』を通して、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表（港湾・運河の位置と異動、携帯電話の普及）（相互関係、経済連携、貿易変化）（人口移動、人口ピラミッド）にまとめられる。 d: 交通と情報化について理解できている。貿易問題について理解できている。人口問題について理解できている。	・定期考査 ・ワークシート ・レポート（アクティブラーニング、ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む）
	貿易	3 拡大する貿易と貿易構造 4 貿易の地域差と国際協力 5 貿易の自由化と経済連携 6 日本の貿易	○ ○	○	○ ○	○ ○ ○		
	人口	7　世界の人口 8　人口の移動 9　先進国・発展途上国の人口問題 10 日本の人口問題	○	○	○ ○ ○	○ ○ ○		

3学期（学年末）	村落・都市	1 集落の立地と起源 2 村落の形態と機能 3 都市の立地、都市の発達と機能、内部構造、集中化 4 先進国・発展途上国の都市・居住問題 5 日本の都市・居住問題	○ ○	○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:資料やインターネットなどを活用して、与えられたテーマ（自然条件・社会条件と関わりの深い立地）について事前に調査できる。 b: 事前調査を班で話し合い、クラス発表に活かせている。 c:各班のテーマに沿って、図や表（地形図や航空写真に、集落や都市の類型を着色）にまとめられる。 d: 集落や都市の形成には、自然地形や社会条件などの要素が絡み合っていることを理解する。そこから、学校や自宅周辺地域の形成過程（集村・散村、都市形態）についても把握し、世界の都市・居住問題について考えを深める。	・ワークシート ・レポート（ポートフォリオ、パフォーマンス評価を含む）

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能
d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。